

おおこうちがわ
大河内川ダム事業の検証に係る検討

結果報告書 正誤表

平成27年8月

山口県

■ 報告書修正箇所（総括）

① 検証対象ダム事業等の点検と費用対効果分析の誤記<P2>

報告書該当ページ

3-3

② 概略評価による利水（水道用水）対策案の選定（一次選定）の誤記<P3>

報告書該当ページ

3-59

③ 概略評価による利水（水道用水）対策案の選定（一次選定）の誤記<P4>

報告書該当ページ

3-70

④ 概略評価による流水の正常な機能の維持対策案の選定（一次選定）の誤記<P5>

報告書該当ページ

3-88

⑤ 概略評価による流水の正常な機能の維持対策案の選定（一次選定）の誤記<P6>

報告書該当ページ

3-99

項	箇所	誤	正
3-3	3.1 検証対象ダム事業等の点検と費用対効果分析 3.1.4 誤記 訂正	<p>3.1.4 堆砂計画の点検 近年（平成22年まで）の実績堆砂量を追加して点検を行った結果、計画堆砂容量200千m³は妥当との判断ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>近傍ダムの実績堆砂量 近傍ダム（佐波川ダム、大坊ダム、木屋川ダム、今富ダム、阿武川ダム）の平成22年までの実績堆砂量を使用</p> <p>計画比堆砂量 比較的高い相関関係の得られた類似地質ダムの確率比堆砂量と比崩壊地面積の回帰式から設定</p> <p>計画堆砂量</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画比堆砂量：210 m³/km²/年（直接流域） 240 m³/km²/年（間接流域） ○ 間接流域からの土砂流入率：40%（導水路流量配分比） ○ 直接流域面積：4.0km² ○ 間接流域面積：9.2km² ○ 計画堆砂年：100年 <p>ダム計画堆砂量 = 直接流域からの堆砂量 + 間接流域からの堆砂量 = 210m³/km²/年 × 4.0 km² × 100年 + 240m³/km²/年 × 9.2 km² × 100年 × 0.40 = 172,320 ≒ 200,000m³</p> </div> <p style="text-align: center;">3-3</p>	<p>3.1.4 堆砂計画の点検 近年（平成22年まで）の実績堆砂量を追加して点検を行った結果、計画堆砂容量200千m³は妥当との判断ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>近傍ダムの実績堆砂量 近傍ダム（佐波川ダム、大坊ダム、木屋川ダム、今富ダム、阿武川ダム）の平成22年までの実績堆砂量を使用</p> <p>計画比堆砂量 比較的高い相関関係の得られた類似地質ダムの確率比堆砂量と比崩壊地面積の回帰式から設定</p> <p>計画堆砂量</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画比堆砂量：210 m³/km²/年（直接流域） 240 m³/km²/年（間接流域） ○ 間接流域からの土砂流入率：40%（導水路流量配分比） ○ 直接流域面積：4.0km² ○ 間接流域面積：<u>8.4</u>km² ○ 計画堆砂年：100年 <p>ダム計画堆砂量 = 直接流域からの堆砂量 + 間接流域からの堆砂量 = 210m³/km²/年 × 4.0 km² × 100年 + 240m³/km²/年 × <u>8.4</u> km² × 100年 × 0.40 = <u>164,640</u> ≒ 200,000m³</p> </div> <p style="text-align: center;">3-3</p>

項	箇所	誤	正																																																								
3-59	3.7 概略評価による利水（水道用水）対策案の選定（一次選定）の誤記 3.7.3 誤記訂正	<p>3.7.3 河口堰 深川川の河口部に堰を設けて淡水を貯留し、水源とする方策である。 深川川における概要評価は以下のとおりであり、対策案として選定しない。</p> <p style="text-align: center;">表 3.7.4 概略評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No.</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既存施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である。</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	2	河口堰	困難 既存施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である。	×	-	-	-	-	-	×		<p>3.7.3 河口堰 深川川の河口部に堰を設けて淡水を貯留し、水源とする方策である。 深川川における概要評価は以下のとおりであり、対策案として選定しない。</p> <p style="text-align: center;">表 3.7.4 概略評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No.</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既存施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である。</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	2	河口堰	困難 既存施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である。	×	-	-	-	-	-	×	
方策No.	方策	実現性			目標				コスト	対策案の選定				備考																																													
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																				
2	河口堰	困難 既存施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である。	×	-	-	-	-	-	×																																																		
方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考																																																	
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																				
2	河口堰	困難 既存施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である。	×	-	-	-	-	-	×																																																		
		3-59	3-59																																																								

項	箇所	誤	正																																																																																																																										
3-70	3.7 概略評価による利水（水道用水）対策案の選定（一次選定）の誤記 3.7.20 誤記 訂正	<p>3.7.20 利水（水道用水）対策案の選定（一次選定） 以上で述べた18手法の利水（水道用水）の方策案の選定結果を以下に示す。</p> <p>表 3.7.21 (1) 利水（水道用水）対策案の選定</p> <p>【河川を中心とした対策】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No.</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ダム</td> <td>可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である</td> <td>○</td> <td>水道用水を補給、ダム下流に効果有り</td> <td>目標の確保が可能</td> <td>可能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>現計画</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既存施設は50年以上経過。洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>湖沼開発</td> <td>困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>流況調整河川</td> <td>困難 取水地点に近接する基準点親月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である	○	水道用水を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画	2	河口堰	困難 既存施設は50年以上経過。洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×		3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×		4	流況調整河川	困難 取水地点に近接する基準点親月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×		<p>3.7.20 利水（水道用水）対策案の選定（一次選定） 以上で述べた18手法の利水（水道用水）の方策案の選定結果を以下に示す。</p> <p>表 3.7.21 (1) 利水（水道用水）対策案の選定</p> <p>【河川を中心とした対策】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No.</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ダム</td> <td>可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である</td> <td>○</td> <td>水道用水を補給、ダム下流に効果有り</td> <td>目標の確保が可能</td> <td>可能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>現計画</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既存施設は20年以上経過した起伏であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>湖沼開発</td> <td>困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>流況調整河川</td> <td>困難 取水地点に近接する基準点親月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である	○	水道用水を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画	2	河口堰	困難 既存施設は20年以上経過した起伏であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×		3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×		4	流況調整河川	困難 取水地点に近接する基準点親月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×	
方策No.	方策	実現性			目標				コスト	対策案の選定				備考																																																																																																															
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																																																																																						
1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である	○	水道用水を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画																																																																																																																			
2	河口堰	困難 既存施設は50年以上経過。洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
4	流況調整河川	困難 取水地点に近接する基準点親月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考																																																																																																																			
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																																																																																						
1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である	○	水道用水を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画																																																																																																																			
2	河口堰	困難 既存施設は20年以上経過した起伏であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
4	流況調整河川	困難 取水地点に近接する基準点親月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
		3-70	3-70																																																																																																																										

項	箇所	誤	正																																																								
3-88	3.11 概略評価による流水の正常な機能の維持対策案の選定（一次選定）の誤記 3.11.3 誤記訂正	<p>3.11.3 河口堰 深川川の河口部に堰を設けて淡水を貯留し、水源とする方策である。 深川川における概要評価は以下のとおりであり、<u>対策案として選定しない。</u></p> <p style="text-align: center;">表 3.11.3 概略評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No.</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既設施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	2	河口堰	困難 既設施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、 塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×		<p>3.11.3 河口堰 深川川の河口部に堰を設けて淡水を貯留し、水源とする方策である。 深川川における概要評価は以下のとおりであり、<u>対策案として選定しない。</u></p> <p style="text-align: center;">表 3.11.3 概略評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No.</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既設施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	2	河口堰	困難 既設施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、 塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×	
方策No.	方策	実現性			目標				コスト	対策案の選定				備考																																													
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																				
2	河口堰	困難 既設施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、 塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×																																																		
方策No.	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考																																																	
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																				
2	河口堰	困難 既設施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、 塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×																																																		
		3-88	3-88																																																								

項	箇所	誤	正																																																																																																																										
3-99	3.11 概略評価による流水の正常な機能の維持対策案の選定（一次選定）の誤記 3.11.1 9 誤記 訂正	<p>3.11.19 流水の正常な機能の維持対策案の選定（一次選定） 以上で述べた 17 手法の流水の正常な機能の維持の方策案の選定結果を、以下のとおりに示す。</p> <p>表 3.11.19 (1) 流水の正常な機能の維持対策案の選定</p> <p>【河川を中心とした対策】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ダム</td> <td>可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である。</td> <td>○</td> <td>正常流量を補給、ダム下流に効果有り</td> <td>目標の確保が可能</td> <td>可能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>現計画</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既存施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>湖沼開発</td> <td>困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>流況調整河川</td> <td>困難 基準点観月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である。	○	正常流量を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画	2	河口堰	困難 既存施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×		3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×		4	流況調整河川	困難 基準点観月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×		<p>3.11.19 流水の正常な機能の維持対策案の選定（一次選定） 以上で述べた 17 手法の流水の正常な機能の維持の方策案の選定結果を、以下のとおりに示す。</p> <p>表 3.11.19 (1) 流水の正常な機能の維持対策案の選定</p> <p>【河川を中心とした対策】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">方策No</th> <th rowspan="2">方策</th> <th colspan="2">実現性</th> <th colspan="4">目標</th> <th rowspan="2">コスト</th> <th rowspan="2">対策案の選定</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど</th> <th>評価</th> <th>効果の内容・範囲</th> <th>目標の確保</th> <th>定量評価</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ダム</td> <td>可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である。</td> <td>○</td> <td>正常流量を補給、ダム下流に効果有り</td> <td>目標の確保が可能</td> <td>可能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>現計画</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>河口堰</td> <td>困難 既存施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>湖沼開発</td> <td>困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>流況調整河川</td> <td>困難 基準点観月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない</td> <td>×</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方策No	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考	地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価	1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である。	○	正常流量を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画	2	河口堰	困難 既存施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×		3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×		4	流況調整河川	困難 基準点観月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×	
方策No	方策	実現性			目標				コスト	対策案の選定				備考																																																																																																															
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																																																																																						
1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である。	○	正常流量を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画																																																																																																																			
2	河口堰	困難 既存施設は50年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
4	流況調整河川	困難 基準点観月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
方策No	方策	実現性		目標				コスト	対策案の選定	備考																																																																																																																			
		地域の特徴（場所の特性）、土地所有者の協力の見通しなど	評価	効果の内容・範囲	目標の確保	定量評価	評価																																																																																																																						
1	ダム	可能 既計画であり、用地買収や家屋移転は概ね完了しており、早期実現が可能である。	○	正常流量を補給、ダム下流に効果有り	目標の確保が可能	可能	○	○	○	現計画																																																																																																																			
2	河口堰	困難 既存施設は30年以上経過した起伏堰であり、洪水時の堰の倒伏において、洪水低減期の塩水混入による取水停止の恐れがあることから、塩害被害を防止し供給することは困難である	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
3	湖沼開発	困難 流域内及び周辺には開発可能な湖沼は存在しない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
4	流況調整河川	困難 基準点観月橋地点において正常流量が確保されておらず、上流域の河川間の流量調整による効果がない	×	-	-	-	-	-	×																																																																																																																				
		3-99	3-99																																																																																																																										